

平成 1 5 年度供給計画の概要

平成 1 5 年 3 月

 北陸電力株式会社

目 次

はじめに

1 . 需要見通し	1
2 . 電源開発計画	2
3 . 需給計画	3
4 . 主要送電線路・変電所の整備計画	4
参考：設備投資額	5

はじめに

総合資源エネルギー調査会・電気事業分科会において、発送一貫体制のもと、競争を促す諸制度や、小売自由化範囲の段階的拡大などを内容とする電気事業制度の改革案が示され、これまで以上に競争が熾烈化すると予想されます。

こうしたなか、当社は販売拡大とコストダウンに取組み価格競争力を一層強化するとともに、将来にわたる安定供給や環境保全の社会的責務を果たす観点から志賀原子力発電所2号機の建設を着実に推進し、お客さまや社会から信頼され選択される企業を目指してまいります。

平成15年度供給計画は、このような認識のもと、次の事項に重点をおいて策定いたしました。

効率的な設備形成と技術営業の積極的な展開

供給信頼度維持のもと、投資効率を重視した設備形成を図るなど、徹底した経営効率化を進めてまいります。

また、多様化するお客さまニーズに迅速かつ的確にお応えするため、「個別提案型」技術営業」活動を強力に展開してまいります。

- ・設備投資の抑制、資産効率の向上
- ・当社の総合力を結集した技術営業の推進
- ・快適生活をご提案するオール電化住宅の推奨

長期的展望に立った電力の安定供給の確保

安定供給確保の観点から、エネルギーセキュリティの中核である原子力を推進するとともに、流通ネットワークの整備を行ってまいります。

- ・志賀原子力発電所2号機建設工事の着実な推進
- ・志賀中能登線・能越幹線等の流通設備の整備

循環型社会への取組みなど環境保全の推進

京都議定書受諾やRPS法(Renewables Portfolio Standard:電気事業者による新エネルギー等の利用に関する特別措置法)制定等を受けて、原子力や自然エネルギーの着実な推進など地球温暖化防止への対応を図るとともに、循環型社会形成に向けた3R(Reduce, Reuse, Recycle)を推進し、環境負荷低減に資する様々な取組みを展開してまいります。

- ・志賀原子力発電所1号機の安全・安定運転の徹底および定格熱出力一定運転の実施ならびに志賀原子力発電所2号機建設工事の着実な推進
- ・事業用風力発電の入札実施やRPS法に沿った自然エネルギー普及促進

1 . 需要見通し

平成14年度の販売電力量は、猛暑影響や生産活動の持ち直しなどにより2年ぶりにプラスの伸びとなるものの、15年度以降については、景気の先行きが依然として不透明であり、当面は厳しい状況が続くものと見込まれます。

中長期的には、さらなる省エネルギーの進展が見込まれるものの、民生用需要が生活の快適志向の高まりや都市再開発事業の進展などから堅調に推移することに加え、産業用需要も情報・通信機器関連の生産増加などにより、低めながらも安定した伸びが見込まれます。

この結果、平成24年度の販売電力量は292億kWh、最大電力は591万kWと想定しました。

また、年負荷率は、冷房需要の増加などの低下要因はあるものの、蓄熱調整契約や深夜需要機器の普及拡大など負荷平準化対策の推進により、緩やかに上昇していくものと想定しました。

第1表 需要見通し

年度 項目	平成 13 実績	14 推定 実績	15	16	17	18	19	24	年平均 増加率 13~24
販売電力量 (億 kWh)	250	252	252	253	258	263	268	292	1.4% (1.4%)
最大電力 (万 kW)	522	518	514	517	527	537	546	591	1.1% (1.3%)
年負荷率 (%)	57.5 (58.7)	58.6 (58.9)	58.8	58.8	58.8	58.8	58.9	59.3	-

注：()内は気温補正後

2. 電源開発計画

長期にわたる電力の安定供給を図るため、品質管理、環境保全、工事安全に万全を期し、志賀原子力発電所2号機の建設を着実に推進してまいります。

一方、石油火力の中で老朽劣化が著しく進み、高コストとなっている発電設備を廃止いたします。

また、グループ大での効率化を図るため、富山共同火力発電(株)、福井共同火力発電(株)との合併を行ない、当社の発電設備といたします。

珠洲原子力地点については、中地域3社による協調体制のもと、引き続き地元合意形成に努めてまいります。

第2表 電源開発計画

電源種別	区分	地点名	最大出力 (万kW)	着手年月	着工年月	使用開始 年月
原子力	工事中	志 ^か 賀2号	135.8	9 - 3	11 - 8	18 - 3

<参考1>

廃止発電設備

電源種別	発電ユニット	最大出力 (万kW)	燃料	廃止年月
水力	枯淵	0.062		15 - 10
火力	富山1号	15.6	原油	16 - 3
	富山3号	25.0	原油	16 - 3
	福井1号	35.0	重油,原油	16 - 3
計		75.662		

合併対象会社

会社名	発電ユニット	最大出力 (万kW)	燃料	合併年月
富山共同火力発電(株)	新港共同1号,2号	25.0×2	重油,石炭	16 - 4
福井共同火力発電(株)	三国共同1号	25.0	重油	16 - 4
計		75.0		

<参考2>

その他の電源開発計画

事業者名	地点名	最大出力 (万kW)	着手年月	着工年月	使用開始 年月
石川県	新 ^{しかれぶち} 枯淵	0.36	S61 - 3	10 - 10	18 - 3

3 . 需給計画

需要見通しおよび電源開発計画に基づき ,長期にわたる安定供給の確保を図ってまいります。

また ,設備全般にわたる供給力の有効活用を図る広域融通を引き続き実施いたします。

第 3 表 需 給 計 画 (最大電力)

年 度 項 目	平成 1 4 実績	1 5	1 6	1 7	1 8	1 9	2 4
需 要 (送電端) (万 kW)	518	514	517	527	537	546	591
供給力 (送電端) (万 kW)	598	600	579	579	621	618	688
供給予備力 (万 kW)	80	86	62	52	84	72	97
供給予備率 (%)	15.5 (17.2)	16.7	12.0	9.9	15.5	13.2	16.4

(注) () 内は気温補正後の値。

第 4 表 電 力 量 構 成 比

(単位 : %)

年 度 項 目	平成 1 4 (推定実績)	1 9	2 4
水 力	2 4	2 2	2 2
火 力	5 2	3 3	2 7
石 油	6	5	5
石 炭	4 6	2 8	2 1
原 子 力	2 4	4 5	5 0
新エネルギー	0	1	1

(注) 四捨五入のため合計が合わない場合がある。

4 . 主要送電線路・変電所の整備計画

系統規模の拡大に対応して電力を安定に輸送するため、志賀中能登線、能越幹線の建設を着実に推進してまいります。

また、電力需要増加に対応して、越前、加賀変電所をはじめ、送変電設備を新增設いたします。

第 5 表 送 電 計 画

区 分	件 名	工 事 概 要				使用 開始 年月
		電 圧 (kV)	電線サイズ (mm ²)	回線数	亘 長 (km)	
工事中	しかなかのとせん 志賀中能登線（新設）	500	410×4	2	16	16 - 11
工事中	のうえつかんせん 能越幹線（新設）	500	410×4	2	69	17 - 6

第 6 表 変 電 計 画

区 分	件 名	変 圧 器			使用 開始 年月
		電 圧 (kV)	容 量 (MVA)	台 数	
工事中	えちぜんへんでんしよ 越前変電所（増設）	275/ 77	200	2	15 - 6
工事中	かがへんでんしよ 加賀変電所（増設）	275/154	400	1	16 - 6

<参 考> 設備投資額

徹底した効率化のもと、設備投資額の抑制に努めてまいります。

平成15年度 1,019億円

平成16年度 956億円

(単位：億円)

項目		年度		平成15	16
		水 力	火 力		
充	電 源	水 力		—	—
		火 力		—	—
		原 子 力		442	422
		小 計		442	422
工 事		送 電		136	80
		変 電		57	59
		配 電		36	38
		給電・その他		58	30
		計		728	629
		改良工事他		291	327
		総 計		1,019	956

(注)四捨五入のため合計が合わない場合がある。